

医療事故調査における解剖に関するワーキンググループ設置要綱

一般社団法人日本医療安全調査機構

1. 目的

医療事故調査における解剖の重要性を踏まえ、医療事故が疑われる死亡の発生時に適切な解剖が実施され、その結果が医療事故調査や再発防止の検討に反映されるよう、必要な取り組みを検討することを目的として、「医療事故調査における解剖に関するワーキンググループ」（以下「WG」という。）を設置する。

2. 構成（別紙：名簿のとおり）

以下の学会・団体より推薦された担当者（1名）から構成する。

- ・一般社団法人 日本内科学会
- ・一般社団法人 日本外科学会
- ・一般社団法人 日本病理学会
- ・一般社団法人 日本法医学会
- ・公益社団法人 日本医師会

必要に応じて外部有識者を加える。

3. 検討事項

WG は以下の事項について意見交換を行う。

- (1) 医療事故調査における病理解剖の重要性の啓発
- (2) 医療事故発生時の解剖に関する説明方法等の検討
- (3) 病理解剖体制の実態把握及び体制の構築
- (4) 司法解剖の結果の活用及び法医解剖医と病理解剖医の連携
- (5) 解剖に係る手続き・費用に関する課題
- (6) その他、目的の達成のために必要な事項

4. 会議の運営

- (1) WG の事務局は、一般社団法人日本医療安全調査機構に置く。本 WG の庶務は、機構総務部において処理する。
- (2) 必要に応じ、構成員以外の有識者の出席を求め、意見を聞くことができる。
- (3) WG は年に3回ほど開催し、適宜関係団体に進捗を報告する。
- (4) この要綱に定めるもののほか、WG の運営に関し、必要な事項は機構において定める。

一般社団法人 日本医療安全調査機構
医療事故調査における解剖に関するワーキンググループ 構成員名簿

(敬称略 五十音順)

令和8年8月20日現在

委員氏名	所属 ・ 役職	推薦学会・団体名
うしく てつお 牛久 哲男	東京大学大学院医学系研究科 教授	日本病理学会
こんどう としかず 近藤 稔和	和歌山県立医科大学 法医学講座 教授	日本法医学会
たけうち ひろや 竹内 裕也	浜松医科大学 医学部 外科学第二講座 教授	日本外科学会
どひ かおる 土肥 薫	三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学 教授	日本内科学会
わたなべ りょうへい 渡邊 良平	愛媛県医師会 常任理事	日本医師会